

鳥獣被害対策市町村専門職員育成支援事業のイメージ

○現状・課題

- ・市町村から県に対して市町村専門職員の配置支援の要望。
- ・専門職員の募集については、大学や専門学校などと連携し、人材の確保を図っているが、全国的な需要の高まりから、人材が不足している。

○対策

- ・県として市町村専門職員や候補者となる人材の確保が必要であることから、人材の確保・育成やマッチングする体制を整備。

鳥獣被害対策市町村専門職員候補者の確保・育成

確保

- 大学・専門学校へアプローチ
- バスツアーの実施
(県外の人材+大学専門学校生対象)

就活イベントの開催・出展
(学生・社会人)

育成

- 専門職員の役割の明確化
- 体系的な人材育成体制の構築

- 地域の実情を把握
- 鳥獣被害対策の実践研修
・生息状況調査、被害調査方法等

候補者と市町村等とのマッチング

鳥獣被害対策市町村専門職員育成支援

- 補助率: 定額
1~2年目 2,000千円
(市町村等)

鳥獣被害対策市町村専門職員育成高度化研修

集合研修

- 地域の実情に応じた有効な対策の検討
- PDCAサイクルの実践
- 被害対策技術支援
(専門職員)



高度化研修

個別研修

- 個別支援
- バックアップ体制の構築
(専門職員等)

有害鳥獣被害対策により農業・農村の活性化